



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NENZAN Kindergarten



今年は、4月に入っても、少し肌寒く感じる日があったせいか、桜の花見を比較的、長く楽しむことができました。そして今、新しい葉が芽吹き、爽やかな緑の風を感じる季節を迎えています。

さて、私は、本年4月、南山幼稚園の専任の園長として着任いたしました小久保篤子と申します。平成29年度、南山幼稚園は独立園となり、全園児75名となり、可愛い子どもたちの声が響いています。



園庭のユスラウメが実をつけています。

【3歳児の様子から】

入園当初、お家の人と離れられずに泣いたり、不安そうな表情を見せたりしていた子どもたちですが、少しずつ幼稚園の生活に慣れてきて、思い思いに自分の居場所を見つけ過ごしています。担任から「粘土があるよ、一緒にしようか。」「電車好き?」「オタマジャクシさんに、おはようって、あいさつしよう。」など、声をかけられると嬉しそうにしながら、安心して遊ぶ姿が見られています。また、降園前には、みんなで集まって絵本や紙芝居を見たり、手遊びを楽しんだりしています。



3歳児りんご組 大好きな紙芝居を見ています。

【4歳児の様子から】

新入園児の子どもたちも園生活に慣れ、担任とみんなで校庭でのかけっこを楽しんだり、池のオタマジャクシをすくい、砂遊び、おうちごっこなど、自分で遊びを見つけて楽しんでいます。4歳児では、「自分のやりたいことを見つけよう」ということを大事にしています。自分からなんでもやってみよう、自分でやってみたいと思える意欲や態度を育てていきたいと思っています。



4歳児ばら組 オタマジャクシをすくって遊んでいます。

学校教育の始まりである幼稚園教育では、子どもたちは集団生活を通して様々なことを学んでいきますが、何より学びの土台となるのは、大人への信頼感です。一番身近な大人である私たちが信頼できる存在となり、安全で安心して過ごせるように教職員一同、努めてまいります。

地域のみなさまには、子どもたちの今後の成長を温かく見守っていただけたらと思います。